

《VI 研究》の記述及び資料等について

【教員の研究活動全般について】

(1) 次の「専任教員の研究実績表」の例にして過去3ヶ年（平成16年度～18年度）の専任教員の研究状況を記載し、その成果について記述して下さい。

①現代ビジネス学科（平成16年度～18年度 専任教員の研究実績表）

学科名	氏名	職名	研究業績				国際的 活動の 有無	社会的 活動の 有無	備考
			著作数	論文数	学会等 発表数	その他			
現代 ビ ジ ネ ス 学 科	福島 勝彦	教授							
	金井 正	教授		1					
	佐久間 敬	教授		1					
	鈴木 正敏	教授	2		2		有	有	
	石井 秀明	教授						有	
	河口 信子	准教授						有	
	小林 清子	准教授							
	水元 昇	准教授		3	1		有	有	
	石井 健司	准教授		1			有		
	大野 智弘	准教授	6(共著)	5	1				
	リサ・パリラ	准教授							
	亀田 多江	准教授		5(共著)	22		有		
キャサリン・カン	講師								

②英語コミュニケーション学科（平成16年度～18年度 専任教員の研究実績表）

学科名	氏名	職名	研究業績				国際的 活動の 有無	社会的 活動の 有無	備考
			著作数	論文数	学会等 発表数	その他			
英 語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 学 科	大谷 立美	教授		2					
	本城 靖久	教授		2					
	森戸 由久	教授		3			有		
	高見 恭子	教授	1(共著)	2	1				
	西本 徹	教授	1(共著)		1			有	
	楠田 直樹	教授		3				有	
	三好楠二郎	教授	1	3	1		有		
	長島 敏子	准教授		2			有		
	南 紀子	准教授		1(単著) 3(共著)	2				
	桜井 裕子	講師		2					
	マコ・カノ	講師	1(共著)	1(単著) 1(共著)					

(2) 教員個人の研究活動の状況を公開していれば、その取組みの概要を記述し、公開している印刷物等を訪問調査の際にご準備ください。

- ・研究開発支援総合ディレクトリー(Read)により研究活動状況を公開。
- ・併設の創価大学と合同で、各教員の「研究業績」および「研究テーマ」を『研究業績集』に収録し、3年ごとに発行。

(3) 過去3ヶ年(平成16年度～18年度)の科学研究費補助金(以下、「科研費」という)の申請・採択等、外部からの研究資金の調達状況を一覧表にしてください。

平成17年度に科学研究費補助金の申請を行ったが、不採択であった。

平成16年度～18年度の間、採択の実績はない。

(4) 学科等ごとのグループ研究や共同研究、短期大学もしくは学科等の教育に係る研究の状況について記述して下さい。

- ・「英語教育センター」において、本学の英語教育の向上に関する業務が行われている。学生主体で行われているイングリッシュデーの支援、英語漬けにするためのイングリッシュラウンジやEnglish Media Centralの企画・運営は、当センターによってなされている。
- ・「英語教育運営委員会」においては、全学の英語関係の科目のカリキュラム等の研究が行われ、効果的な授業の実施に役立っている。
- ・「IT教育推進室」においては、情報教育の充実化の研究、また教育の情報化推進のための研究が行われている。
- ・「資格試験指導室」においては、将来に向けてどのような資格を取り入れるか、また課外講座としてどのような講座を開設するかの研究がなされている。

#### 【研究のための条件について】

(1) 研究費(研究旅費を含む)についての支給規程等(年間の支出限度額等が記載されているもの)を整備していれば訪問調査時に拝見します。なお規程等を整備していない場合は、過去3ヶ年(平成16年度～18年度)の決算書から研究に係る経費を項目(研究費、研究旅費、研究に係る施設、機器・備品等の整備費、研究に係る図書費等)ごとに抽出し一覧表にしてください。

創価女子短期大学研究図書費使用規程(参VI-4)

なお、個々の費目の金額(参VI-4)については、毎年理事会において検討し、決定している。

(2) 教員の研究成果を発表する機会(学内発表、研究紀要・論文集の発行等)の確保について、その概要を説明してください。なお過去3ヶ年(平成16年度～18年度)の研究紀要・論文集を訪問調査の際に拝見いたしますのでご準備ください。

『創価女子短期大学紀要』(参VI-2)を原則年2回発行

(3) 教員の研究に係る機器、備品、図書等の整備状況について、平成 18 年度の決算よりその支出状況を記述して下さい。また訪問調査の際の校舎等案内時に教員の研究に係る機器、備品、図書等の状況を説明してください。

平成 18 年度教員研究費の執行状況は次のとおりである。

学科名	機器	備品	図書等	消耗品	その他	合計
現代ビジネス学科	380,000	/	1,405,631	824,290	1,686,190	4,296,111
英語コミュニケーション学科	310,000	/	1,643,368	380,043	1,230,106	3,563,517
合計	690,000	/	3,048,999	1,204,333	2,916,296	7,859,628

(単位:円)

(4) 教員の教員室、研究室または研修室、実験室等の状況を記述して下さい。なお訪問調査の際に研究室等をご案内願います。

全教員 1 人 1 研究室、研究室に 2 タイプ (28 m<sup>2</sup>、17 m<sup>2</sup>)  
 パソコンはすべての研究室に設置している。(研究費からリース料を支払。)
 備品 (机、椅子、書架、電話等。)

(5) 教員の研修日等、研究時間の確保の状況について記述して下さい。

個人的に、週 4 日の出講を希望する教員を除き、出講日は原則週 3 日となっている。したがって、研究日は確保されている。

**【特記事項について】**

(1) この《VI 研究》の領域で示した評価項目や評価の観点の他に、教員の研究について努力していることがあれば記述して下さい。

科学研究費補助金、日本科学協会、社会安全研究財団、トヨタ財団、科学技術振興機構等の研究費について、毎回、案内し、申請を募っている。

(2) 特別の事由や事情があり、評価項目や評価の観点が求めることが実現 (達成) できないときはその事由や事情を記述して下さい。

特になし。

- 〈参考資料〉
1. 教員個人の研究業績書 (過去 3 ヶ年)
  2. 教員の研究活動について公開している印刷物等 (過去 3 ヶ年)
  3. 科研費の採択等、外部からの資金の調達状況 (過去 3 ヶ年)
  4. 研究費 (研究旅費を含む) 等の支給規程等